

講義名	英語 A (総合)			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

本コースでは、高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指す。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成する。「音読」や「筆写」という練習法を取り入れた総合英語テキストを使って、確実に英語力アップにつながる授業を展開する。また、「Moodle (ムーデル)」という自主学習用共通教材を使って英文法や基本的な英語表現を学習する。本コースの主題は、「外国語の習得と、それを通してグローバルな視点から、海外の社会や文化について学ぶことを目的とする」という本学グローバル科目の趣旨に沿うものであり、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーに貢献するものである。

到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指す。
 個別教材:
 (1) キャンパスライフを舞台にしたテキストを使って、英米の大学や文化理解に関する知識を獲得できる。
 (2) リスニング練習と音読によって、対話の大意が理解できるようになる。
 (3) テキストの音テマに沿った語彙を習得できる。
 (4) 高校までに学習した英語の基本文法を習得できる。
 (5) TOEICのリスニング、リーディング問題の形式に習熟できる。
 上記の到達目標は「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーの達成に役立つ。

提出課題

基本英文法に関する演習問題、テキストの演習問題、等の課題を毎回、授業の前後に課すので、期限までに提出する。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

共通教材: 登壇の小テスト問題について授業内で解説する。
 個別教材: 登壇の授業の準備のために、ワークシートの課題に取り組み、また、授業後に出された課題に取り組み、提出する。課題の内容については授業で解説をする。

評価の基準

(1) 出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点 (50%)
 (2) 共通教材期末テスト (25%)
 (3) 定期試験 (25%)
 * 出欠の扱いについては第1回目の講義で説明する。

履修にあたっての注意・助言他

コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行いますが、一つでも不参加の項目がある場合は不合格となります。特別な理由のない15分以上の遅刻は欠席となります。また、5回以上欠席すると定期試験の受験資格を失い単位を取得できなくなります。教科書は必ず購入してください。当然、購入しているという前提で授業を実施します。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となります。詳細は以下の形式で提出していただきます。スマホからの写真やテキストでの提出は認められません。
 毎週、授業開始直後の約20分間を使ってクイズを実施します。詳細については第1回目の講義資料で説明します。提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalを通じて行いますので、必ず確認するようにしてください。

教科書

.Let's Read Aloud & Learn English:: On Campus.	Teruhiko Kadoyama & Simon Capper	Seibido	2,300	9784791971824
--	----------------------------------	---------	-------	---------------

参考図書

その他

基本英文法の資料やワークシート、を適宜、Ryuka Portalの「講義連絡」を通じて配布、使用する。

授業計画

1 Moodle共通教材 ガイダンス	Unit 1 What's your major?
2 Moodle共通教材 Set 1	Unit 2 How do you like your new school? ?
3 Moodle共通教材 Set 2 /Moodle Quiz1	Unit 3 Let me introduce a new member to you.
4 Moodle共通教材 Set 3 /Moodle Quiz2	Unit 4 How was your Golden Week?
5 Moodle共通教材 Set 4 /Moodle Quiz3	Unit 5 I'm looking for a part-time job.
6 Moodle共通教材 Set 5 /Moodle Quiz4	Unit 6 What do you call this in Japanese?
7 Moodle共通教材 Set 6 /Moodle Quiz5	Unit 7 Have you been there?
8 Moodle共通教材 Set 7 /Moodle Quiz6	Unit 8 Could you tell me how to get there?
9 Moodle共通教材 Set 8 /Moodle Quiz7	Unit 9 What do you want me to do?
10 Moodle共通教材 Set 9 /Moodle Quiz8	Unit 10 I'm on a tight budget.
11 Moodle共通教材 Set 10 /Moodle Quiz9	Unit 11 What do you think of this program?
12 Moodle共通教材 Set 11 /Moodle Quiz10	Unit 12 I'm reviewing what I studied.
13 Moodle共通教材 Set 12 /Moodle Quiz11	Unit 13 Final exam week is so stressful!
14 Moodle Quiz12	Unit 14 Is this your first trip abroad?
15 Moodle共通教材期末テスト	Unit 15 What would you like to order?

* 授業の進捗度により、内容を調整する場合があります。

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア: PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材:
 (予習) 次の授業で解説されるセット問題をRyuka Portal上のMoodleにアクセスして解く。
 (復習) 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ (小テスト) に向けてそのセット問題を復習する。(合わせて2時間程度)
 個別教材: (予習) 登壇の授業のワークシートを完成し、提出、次回のクイズの準備 (1時間)
 (復習) その日に学習した内容の復習 (授業で学習した基本英文法、語彙やリーディングセッションの見直しと音読、リスニングセッションの聴解) (1時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な読解力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき読解・能力の育成につながる。これらの能力は理学部生に求められる業界界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回、授業に対するコメントや質問をGoogle formにより提出する。登壇の授業でクラスメートのコメントを共有し、質問に回答する。Moodleにより基本英文法の学習を行う。

実務経験の有無及び活用

備考

課題の提出は非常に重要です。教科書を購入しなければ課題を提出できません。履修登録後、すみやかに購入手続きをしてください。前掲のように、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となります。授業に関する連絡事項はすべて「講義連絡」を通じて行います。